

外観試験

試験項目	試験方法	合否の判定基準
設置場所等	目視により確認する。	a 階段室、非常エレベーターの乗降ロビーその他これらに類する場所で消防隊が有効に消火活動を行うことができる位置に設けてあること。 b 水平距離が50m以下となるように設けてあること。
設置数	目視により確認する。	一の回路に設けてある非常コンセントの数は、10以下であること。
専用幹線	目視により確認する。	a 非常コンセントに電気を供給する電源からの回路は、主配電盤から専用とされ、各階ごとにおいて2以上となるように設けてあること。 b 階ごとの非常コンセントの数が1個のときは、1回路であること。 c 専用幹線は、単相交流100Vで15A以上の電気が供給可能であること。
過電流遮断器	設置場所等	目視により確認する。
	種類	専用幹線の電源側回路には、過電流遮断器が設けてあり、その容量は、適正なものであること。 専用幹線から各階の非常コンセントまでの分岐回路には、開閉器及び過電流遮断器が設けられ、単相交流100V回路にあつては15A（配線用遮断器にあつては20A）のものを設けてあること。
保護箱等	設置場所等	目視及びスケール等を用いて確認する。
	保護箱	目視により確認する。
	非常用コンセントの差込み接続器	目視により確認する。
	接地	目視により確認する。
電源	常用電源	目視により確認する。
	非常電源の種類	非常電源の種類を確認する。
表示灯	目視により確認する。	a 保護箱の上部に赤色の灯火が設けてあること。 b 赤色の灯火は、壁等に堅固に固定されていること。

機能試験

試験項目	試験方法	合否の判定基準
端子電圧試験	電圧を電圧計を用いて測定する。	電圧の測定値が定格で100Vであること。

